

友の会の成り立ち

世田谷美術館開館の翌年、1987年に美術に関心を持つ人々のお互いの交流と世田谷美術館を支援することを目的として、有志の発起人たちにより自主団体として友の会が作られました。「美の愛好家としては誰もが平等であるため、会員全員が会の担い手であり、しかも上下関係のない会にしたい」という会の趣旨は今も変わりません。設立にあたり、大島清次初代館長より「活動に創造的な発想を」という美術館と友の会の連携促進のメッセージをいただき、会は大きく発展し現在に引き継がれています。

友の会の運営

友の会は世話人会が中心になって運営されています。世話人は2年任期の無報酬で、総会にて選ばれます。(現在26名)事業推進のため、毎月1回の定例世話人会と、総務、事業、広報の各部会が定期的にかかれ、会員の皆様に満足していただくために努力しています。また、平成21年の友の会のホームページ開設を機に、ホームページ委員会が新設されました。

総務部会

予算管理、総会準備などを行います。また、会員交流会、美術館の要請による展覧会やさくら祭等のボランティア活動のまとめ役も担当しています。

事業部会

事業の企画から実施までを担当します。企画展毎の解説鑑賞会、会員限定の実技講座(デッサン・油彩・木口木版・水彩画・水墨画・銅版画)、会員作品展、美術館めぐり等事業は多岐にわたります。

広報部会

「友の会だより」を年3回発行します。その原稿のとりまとめをします。また、アート散歩を担当します。

事務局

友の会内の連絡および美術館との連絡調整、各実技講座の開催準備、書類記録の保管、友の会入会や継続手続きなどの事務を行います。事務局長と担当者の2人が交代で勤務していますので、友の会に関するお問い合わせ、ご要望などはこちらにお寄せください。

友の会のあゆみ

会員の皆様の「観る立場のみにとどまらず、自分で描いて作って味わいたい」という希望を受け入れて各種の実技講座が始まりました。また、美術館をめぐるバスツアーなど、会員交流の場を設けるなど、その後も会員の要望に極力応えるように努めて現在に至りました。

年度	1986年	1987年	1988年	1990年	1991年	1992年	1994年	1998年	2004年	2005年	2006年	2008年	2009年	2011年	
主な事柄	美術館開館 友の会準備委員会発足	友の会設立(代表鬼塚満壽志) 第1回友の会代表者会 企画展鑑賞会開始 友の会だより創刊	陶芸講座開始(現在休止) バス見学会開始(日帰り) デッサン講座開始 会員作品展開始	企画展のボランティアを開始 (大英博物館展を機に)	油彩講座開始	会員交流会開始	友の会ピッツバーグ訪問	画廊探検開始(現在休止)	世田谷美術館さくらまつり開始	木口木版画講座開始	美術館めぐり(1泊2日)開始 友の会代表者会が総会に発展	水彩画講座開始 友の会ホームページ開設	アート散歩開始 水墨画講座開始 銅版画講座開始	屋外写生講座開始(現在休止) TOTTEMONOII賞開始 (会員作品展での館長賞)	友の会ウィーン旅行 *ピンク部分は実技講座